



いつまでもお元気で

100 歳のお誕生日

久住呂サチさん（志佐・横辺田）が12月25日、100歳の誕生日を迎えました。

久住呂さんは大正5年生まれ。若いころは農業に従事されていました。普段から冗談を言うなど、とてもおしゃべり好きな明るい性格をされています。

この日は、自宅で家族に囲まれ、友広市長からお祝いの言葉や花束を受け取りました。



厚生労働大臣表彰

株式会社スエオカ松浦事業所

平成28年度統計功労者表彰伝達式が12月26日、長崎市で行われ、株式会社スエオカ松浦事業所が厚生労働大臣表彰を受けました。

同事業所は、平成27年度の毎月勤労統計調査に対する理解および協力の状況が良好で、調査票の提出が迅速かつ記載内容が適正であり、同調査業務の円滑な実施に大きく貢献したことが高く評価され、今回の表彰となりました。



門松で福を呼び込む

松浦市シルバー人材センター

公益社団法人松浦市シルバー人材センター事業委員会（寶亀三男委員長）が12月22日、松浦市役所、生涯学習センター、文化会館へ門松3対を寄贈しました。

同事業委員会は、新しい年を笑顔で迎えてほしいとの思いから、毎年門松を寄贈しています。

各施設に飾られた門松は、きれいに削られた竹の節の部分がにっこりとほほ笑んでいるように見えます。新しい年を笑顔で福を呼び込めるようにと製作した会員らの願いが込められた門松は、市役所などを訪れる人たちをお出迎えました。



霊を慰め、地域の親睦を深める

佐々木祭

志佐町池成地区に約350年前から伝わる「佐々木祭」が12月24日、同地区の小島辰美さん宅で行われました。

同地区には、平戸藩士でこの地域を治めていた「佐々木様」が参勤交代で留守中に妻の不義の噂を耳にし、大酒を飲むようになり亡くなったという故事が残っています。

佐々木様に仕えた家臣の子孫にあたる同地区5世帯で毎年持ち回りし、佐々木様の命日である12月24日に集まり開催しています。

この日集まった人たちは、大杯で酒1升を回し飲みしながら霊を慰め親睦を深めました。



大きな掛け声で元気よく！

星鹿地区もぐら打ち

星鹿地区で無病息災などを祈願する「もぐら打ち」が1月6日に行われました。

この日は、小中学生14人が集まり、地区内の約120戸を2班に分かれて回りました。

子どもたちは、「祝いましょう、祝いましょう、祝のモチをくれたなら、末も繁盛で世もよかる…」と大きな掛け声を掛けながら、新わらで作った約80軒の「もぐら打ち棒」で玄関の床を元気いっぱいにたたきました。



防火・防災への気持ちを新たに！

平成29年消防出初式

松浦市消防団（志水正信団長）の消防出初式が1月7日、文化会館などで開催されました。

式には、市内の消防団員など約700人が参加し、永年勤続者・消防協力者などの表彰が行われました。

志水団長は、「消防団は市民の生命、財産を火災をはじめとする災害から守るため日夜努力しています。地域防災の要として一層の努力を期待します」と訓辞しました。

式後の市中分列行進では、団員たちが中央公園から庄野橋まで行進した後、消防車両14台で一斉放水を行い、今年1年の防火・防災への意識を新たにしました。



感謝の気持ちを込めて

今福少年ソフトボールクラブ

今福少年ソフトボールクラブ（部員9人）が12月29日、今福神社の境内を清掃しました。

同クラブは、毎年初めに同神社に必勝祈願に訪れており、そのお礼に感謝の気持ちを込めて毎年この時期に清掃を行っています。

この日は、部員や保護者らが約1時間かけて竹ぼうきや熊手で落ち葉などを集めました。

福浦蓮翔主将は、「1年間健康に過ごせたことに感謝して掃除しています。来年は自分たち6年生が卒業するので、部員を増やし、チーム仲良く元気に頑張りたいです」と話しました。



威勢よく初競り

松浦魚市場

日本有数のアジ・サバの水揚げ量を誇る松浦魚市場で1月6日、今年最初の取り引きとなる初競りが行われました。

この日は、約150トが入荷。午前5時の1番競りから競り人と仲買人らの威勢のよい掛け声が市場内に響きわたり、水揚げされた新鮮なアジやサバなどが次々と競り落とされました。

また、その後の仕事始め式では、市場関係者が操業の安全と大漁、商売繁盛を願いました。

